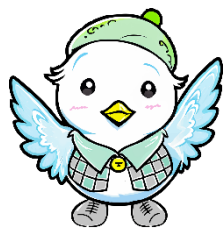




あまみず グリーンインフラ



都市せいっぴ

あまみずグリーンインフラ CONCEPT BOOK

■発行日 令和7（2025）年7月
■編集・発行 東京都都市整備局都市基盤部調整課
東京都新宿区西新宿二丁目8番1号
電話 （03）5388-3386

登録番号（7）12

CONCEPT BOOK



東京都都市整備局



目次

はじめに	．．．．１
１ あまみずグリーンインフラとは	．．．．２
２ 雨水を「しみこませる」まち	．．．．４
３ 東京都の取組	．．．．６
４ あまみずグリーンインフラの特徴	．．．．１２
５ あまみずグリーンインフラの効果及び評価の確認	１８
６ あまみずグリーンインフラの事例	．．．．２２
７ あまみずグリーンインフラへの期待	．．．．５２

東京都では、近年の気候変動の影響により激甚化・頻発化する豪雨災害に対応するため、令和５年１２月に「東京都豪雨対策基本方針」を改定しました。本方針では、豪雨対策として、河川・下水道整備に加えて、流域対策及び家づくり・まちづくり対策を位置付け、その中で「グリーンインフラ」の導入を図ることとしています。

グリーンインフラとは、自然環境が有する機能を社会課題の解決に活用しようとする考え方であり、緑地やレインガーデン（雨庭）を整備することは、景観の向上や生物多様性の保全等の日常の豊かさだけでなく、雨水流出抑制に資する取組であることから防災機能の強化にもつながります。東京都では、グリーンインフラのうち、自然の機能を雨水の流出抑制に活用する取組を「あまみずグリーンインフラ」として展開しています。

グリーンインフラを含めた流域対策の推進には、行政だけでなく、都民の皆様方の協力が必要不可欠です。本コンセプトブックでは、グリーンインフラの役割、機能及び事例について紹介します。

東京都都市整備局



1 あまみずグリーンインフラとは

雨水の流出を抑制するグリーンインフラ

「あまみずグリーンインフラ」とは、自然環境が有する多様な機能を活かして雨水の流出を抑制するグリーンインフラです。

雨水を一時的に貯めたり、しみこませたりすることで、雨水が下水道及び河川に急激に流入することを防ぎ、これにより水害の発生防止に寄与するものとして、東京都が普及を行っている取組です。



■グリーンインフラ

- ① 社会資本整備や土地利用等のハード・ソフト両面において
- ② 自然環境が有する多様な機能を活用し、
- ③ 持続可能で魅力ある国土・都市・地域づくりを進める取組

(出典：国土交通省)



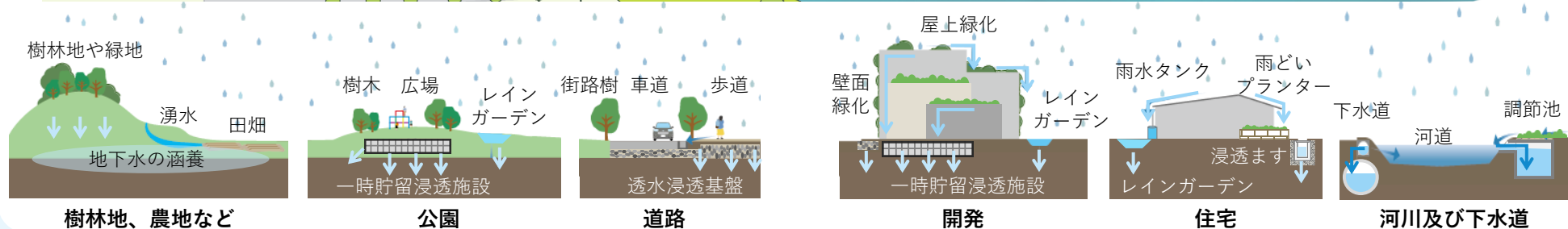
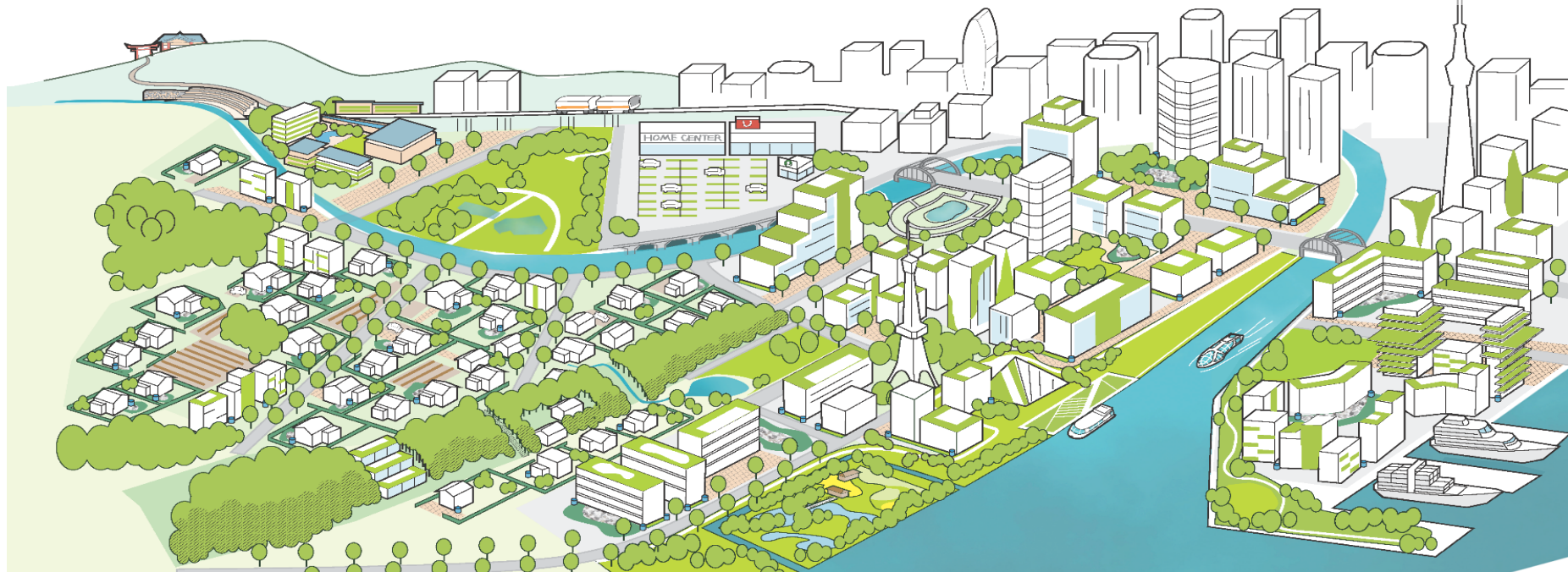


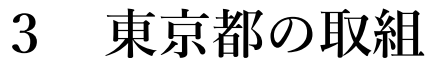
2 雨水を「しみこませる」まち

雨水を「しみこませる」まちづくり

東京都では「あまみずグリーンインフラ」を拡げて、雨水を「しみこませる」まちづくりを目指しています。

雨水を「しみこませる」まちづくりを進めることは、河川及び下水道の負荷を減らし、暑熱緩和、良好な景観の形成などの様々な効果も期待でき、自然と調和した持続可能な都市の実現につながります。

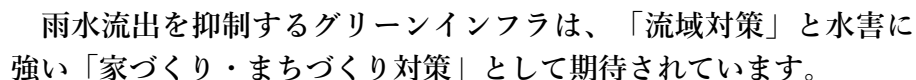




近年、気候変動の影響により豪雨が激甚化・頻発化しています。



その施策として、目標降雨までは「河川・下水道整備」及び「流域対策」により浸水被害の防止を図ること、目標を超える降雨に対しては、「家づくり・まちづくり対策」及び「避難方策」にて、もしもに備えることとしております。



- あらゆる関係者による雨水流出抑制の取組への支援充実
- 流域対策の協働を促す広報強化など

避難方策

流域対策

下水道整備

河川整備

家づくり・まちづくり対策

- ・ 高台まちづくり、グリーンインフラ等の水害に強いまちづくりの推進
- ・ 地下街における行政と管理者間の連携強化、避難訓練等の水害対策の推進など

A photograph showing a paved pedestrian path on the left, bordered by a low, curved stone wall. Behind the wall is a dense, lush garden with various green trees and shrubs. A person in a white shirt and dark pants is walking away from the camera on the path. Another person in a blue shirt and dark pants is walking towards the camera on the right side of the path. The scene is well-lit, suggesting daytime.

6 あまみずグリーンインフラ CONCEPT BOOK



3 東京都の取組

東京グリーンビズ みどりと生きるまちづくり **TOKYO GREEN BIZ**



東京グリーンビズHP

東京グリーンビズとは、「自然と調和した持続可能な都市」を目指し、都民や企業の皆様など様々な方々とともに、東京の緑を「まもる」「育てる」「活かす」取組を進める、100年先を見据えた緑のプロジェクトです。

100年先を見据え、取組の輪を拡大し、東京の緑を未来へ継承

「まもる」取組

- 農地を守る
- 樹林地（屋敷林等）を守る
- 豊かな自然（保全地域等）を守る
- 森林（水道水源林等）を守る

「活かす」取組

- 自然が有する機能を活用する
「グリーンインフラ」の導入
- 公園の魅力を高めTOKYOの顔に
- 豊かな自然を活用・発信
- 水辺に親しむ空間づくり
- 多摩産材の活用
- 緑の多様な価値を活かす



「育てる」取組

- 公園の整備
- 街路樹の充実（安全性や快適性の確保）
- 緑と水のネットワーク化
- まちのシンボルとなる緑豊かな空間の創出
- まちづくりに合わせた、まちなかの緑の創出
- 東京グリーンビズ・ムーブメントの推進

出典：東京都の緑の取組 Ver.3



- 東京の緑を「活かす」取組 -

自然が有する機能を活用する 「グリーンインフラ」の導入

自然が有する機能を、豪雨や猛暑など激甚化・頻発化する自然災害への対応、生物多様性の保全・回復、都市の快適性の向上など、様々な社会課題の解決に活用するため、都有施設や民間施設等でのグリーンインフラの導入が求められています。



グリーンインフラ産業展 2025



3 東京都の取組

雨水しみこみプロジェクト



雨水しみこみプロジェクトHP

東京都では、雨水を「しみこませる」まちづくりを進める『雨水しみこみプロジェクト』を開始しました。

市民、事業者及び行政の間で様々なつながりをつくることで、プロジェクトを推進していきます。



雨水しみこみアンバサダー

日々の取組を通して、雨水しみこみプロジェクトの普及啓発を行う行政、事業者及び地域で活動する団体を“雨水しみこみアンバサダー”として認定しています。

東京都

- ・ ホームページ掲載
- ・ 広報動画の配信
- ・ 表彰イベント 等



雨水しみこみアンバサダー

- ・ 雨水浸透ますの設置
- ・ レインガーデン等のグリーンインフラ導入
- ・ 普及啓発イベント 等

【認定事業者数：77事業者（令和7年7月現在）】

雨水しみこみプロジェクト表彰式

令和6年12月に豪雨対策に関する取組や普及啓発等に積極的に取り組んだ雨水しみこみアンバサダー及び東京都自由研究コンテスト受賞者に対して表彰を行いました。



雨水しみこみアンバサダー情報交換会

令和7年2月に『雨水しみこみアンバサダー』による雨水貯留浸透施設の技術・製品やレインガーデン（雨庭）等のグリーンインフラ導入事例等の紹介及び情報交換を行いました。

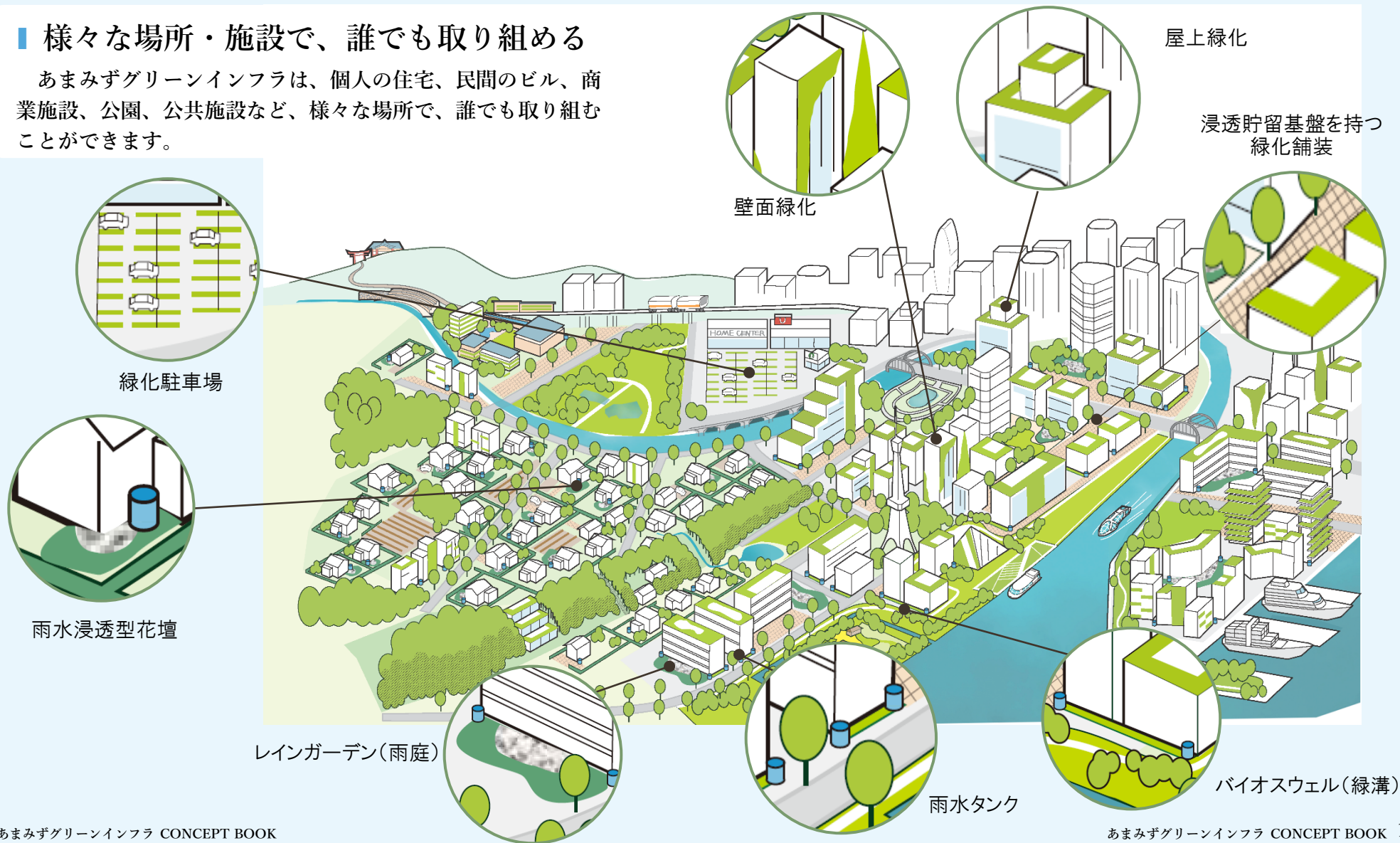




4 あまみずグリーンインフラの特徴

■ 様々な場所・施設で、誰でも取り組める

あまみずグリーンインフラは、個人の住宅、民間のビル、商業施設、公園、公共施設など、様々な場所で、誰でも取り組むことができます。





4 あまみずグリーンインフラの特徴

■ 様々な効果が期待できる

あまみずグリーンインフラには、雨水を貯留・浸透することに加えて、暑熱緩和、生物多様性の保全、良好な景観の形成など、緑が持つ様々な効果が期待できます。

雨水を貯める、しみこませる

雨水を一時的に留め、緩やかに地中に浸透させることで、下水道及び河川に流れこむ雨水の量を減らし、水害の発生防止に貢献します。

また、地下水の涵養にも効果を発揮します。



暑さをやわらげる

緑地は日射を反射しやすく、表面温度が低く抑えられるため、アスファルト舗装などよりも周囲の気温の低下が期待できます。壁面緑化などにより室内の温度上昇が抑えられることも知られています。



生き物にやさしい

生物の生息・生育場となり、生態系ネットワークの形成に貢献します。ビオトープの設置や地域の在来種による植栽を行うことで、生物多様性の保全にも貢献する取組になります。



まちを美しくする

緑化により、まちの景観が改善し、豊かになり、やすらぎや潤いのあるまちになっていきます。

緑には、人をリラックスさせ、ストレスの軽減に効果があることも知られています。



地域力を高める

まちを水害から守り、美しくするあまみずグリーンインフラの導入に、市民、市民団体及び企業が協力して取り組むことで、地域コミュニティの力を高めるきっかけになります。





4 あまみずグリーンインフラの特徴

■ いろいろなアレンジ・工夫を楽しめる

あまみずグリーンインフラは、場所に合わせて形を変えたり、好きな草花で飾ったり、ピオトープにしたり、様々なアレンジや工夫を楽しむことができます。

専門家に相談したり、気の合う仲間や家族で話し合い考えたりと、づくり方もいろいろ楽しむことができます。

形や材料の変化を楽しむ



大島小松川公園ではヒョウタン型
芝による色のコントラスト



高井戸公園では円形
周囲には大きな石を配置



掘った土に腐葉土や土壌改良材
を混ぜて埋め戻し



穴を掘った後、砕石を敷いた箇所

柏の宮公園のミニ雨庭では掘削後に腐葉土や
土壌改良剤を混ぜた土で埋め戻した施設、
砕石を敷いた施設など様々な資材を活用

仲間づくり・学びを楽しむ



「世田谷グリーンインフラ学校」の様子
(世田谷区)



雨庭の情報交換や交流ができる茶話会
(一般財団法人世田谷トラストまちづくり)



グリーンインフラ杉並区民会議を設立し
参加者の意見を取り入れて雨庭を造成 (杉並区)



市民、指定管理者及び市内造園事業
者と協働で施工 (八王子市)





5 あまみずグリーンインフラの効果

及び評価の確認

効果の調査を進めています

あまみずグリーンインフラの効果の一つである“**雨水を貯める・しみこませる力**”を知るために、レインガーデンに水を流し込み、レインガーデンの内部における水深の時間変化等から、効果の分析を進めております。



地面の硬さを調べました。

地面における
水のしみこみやすさを調べました。



レインガーデンに
水の流し込みを行いました。

Column

みんなも調べてみよう！！

雨水しみこみプロジェクトのキャラクター

『しみこみレンジャー』たちを紹介します！

雨水しみこみプロジェクトのホームページでは、しみこみレンジャーと一緒にゲームをしながら、雨への対策について学ぶことができます！



「雨を吸い込むまちをつくらう！」
🏡 高い土地を活かし、
緑の力で水害に強いまちを作るよ！

家・まちづくり ～グリーンインフラ～
Green Infrastructure

「川の水を安全に流そう！」
🌊 雨や川の水を安全に流せるように、
川を整備するよ！



河川整備 ～河川～
Rivers

「浸水する場所を事前にチェック！」
🚨 ハザードマップを見て、
安全に避難しよう！



避難方策 ～避難～
evacuation



下水道整備 ～排水～
Effluent

「雨の水も、汚れた水も、安全に流そう！」
🏠 家庭の水や雨水をスムーズに流せるように、
下水道を整備するよ！



流域対策 ～地域の備え～
Neighborhood Preparedness

あまみずしみこみプロジェクト |





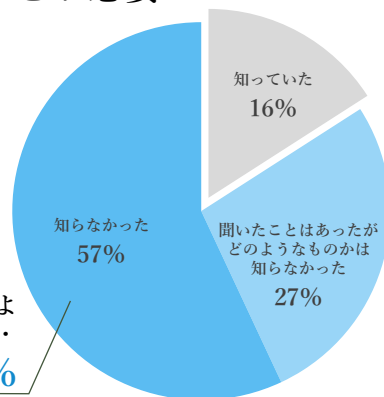
5 あまみずグリーンインフラの効果

あまみずグリーンインフラのある都立公園で、公園利用者の皆様（402人）に御意見を伺いました（令和6年12月から令和7年2月まで）。

■ みんなに知ってもらうことが必要

「グリーンインフラ」という言葉を「知っていた」は1割程度で、「聞いたことはあったがどのようなものかは知らなかった」及び「知らなかった」が8割以上になりました。

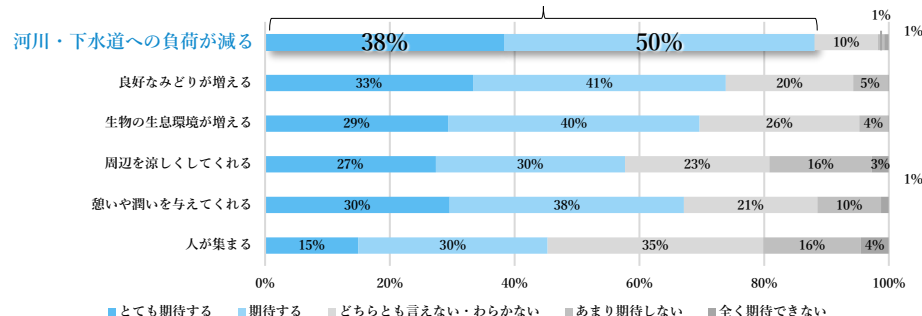
聞いたことはあったがどのようなものかは知らなかった・知らなかった
84%



■ 9割近い人が雨水流出抑制効果に期待

あまみずグリーンインフラに期待する効果では、「河川・下水道への負荷が減る」が最も高く、9割近い人が期待していました。

期待する **88%**

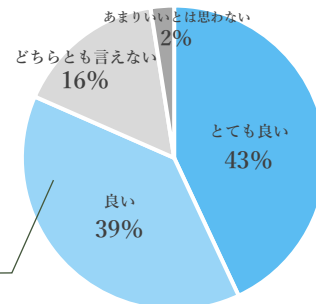


及び評価の確認

■ レインガーデンやバイオスウェルの印象は良い！

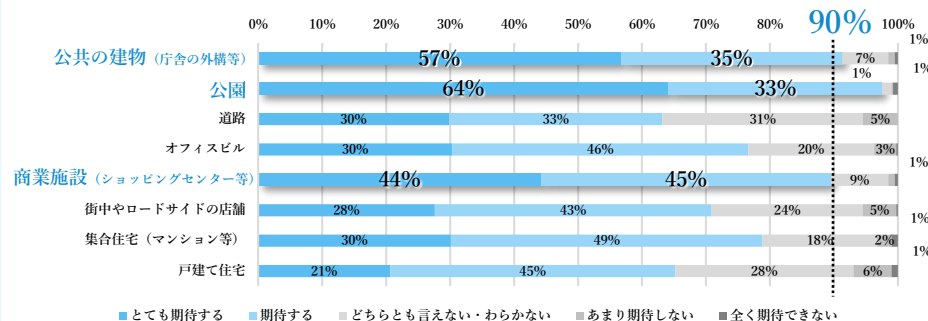
公園でレインガーデンやバイオスウェルを見た印象は、「とても良い」及び「良い」と思った方が8割を超えました。

とても良い・良い **82%**



■ 公共施設、公園、商業施設への期待が大きい

あまみずグリーンインフラ導入の期待が高いのは、公共施設、公園及び商業施設でした。



■ 不安や課題もありました（自由意見から抜粋）

- ・ 蚊などの発生源にならないか気になる。
- ・ 説明板をもっと大きくして、皆に知ってもらうことが必要である。
- ・ どれくらい効果があるのか分からない。
- ・ 大きな石は、子どもが転んだりして危ないのではないかな。



6 あまみずグリーンインフラの事例

東京都では、雨水流出抑制に資するグリーンインフラ先行実施事業等によって、あまみずグリーンインフラの導入を進めています。

ここでは、東京都が整備した事例、区市における東京都の補助活用事例及び検証等で連携しているあまみずグリーンインフラの事例として、18施設（39か所）を紹介します。

0：都施設

0：区市施設

■多摩地域

	施設名	所在地	整備主体
13	六仙公園	東久留米市	東京都
14	武蔵国分寺公園	国分寺市	〃
15	大栗川旧河川敷	八王子市	〃
16	境川旧河川敷	町田市	〃
17	調布駅前広場公衆トイレ	調布市	調布市
18	富士森公園	八王子市	八王子市

■区部西部

	施設名	所在地	整備主体
6	明治公園	新宿区	東京都
7	善福寺川取水施設	杉並区	〃
8	高井戸公園	〃	〃
9	立教通り	豊島区	豊島区
10	柏の宮公園	杉並区	杉並区
11	弦巻四丁目 松の木鈴木市民緑地	世田谷区	世田谷区
12	世田谷トラストまちづくり ビクターセンター	〃	〃

■区部東部

	施設名	所在地	整備主体
1	大島小松川公園	江東区・江戸川区	東京都
2	鹿本あじさい公園	江戸川区	江戸川区
3	松島くろまつ公園	〃	〃
4	東海公園	品川区	品川区
5	浜川北公園	〃	〃



6 あまみずグリーンインフラの事例

事例 1

区部東部

都施設

大島小松川公園

管理者 東京都都市整備局
設置日 令和6年9月（※検証施設）
所在地 江東区大島九丁目地内
設置物 レインガーデン(3か所)
バイオスウェル(2か所)



- 設置箇所 -

Point.

- ・ 荒川と中川に挟まれたエリアで、水害に関する住民の意識関心がとても高い地域
- ・ 公園中央の広場から周辺道路に向けた傾斜を利用して集水
- ・ 大雨時に既存側溝では受けきれない雨水を処理する効果を見込む。



- バイオスウェル 2 -



- バイオスウェル 1 -



- レインガーデン 2 -



- レインガーデン 1 -



- レインガーデン 3 -

水位変化が分かるように
石の高さを5cm刻みで配置！



6 あまみずグリーンインフラの事例

事例 2

区部東部

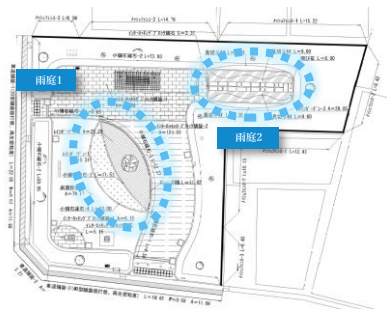
市区施設

鹿本あじさい公園

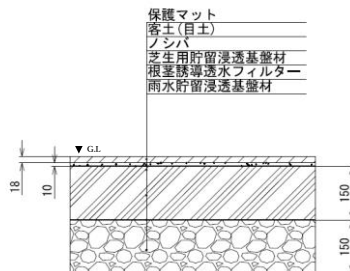
管理者 江戸川区
設置日 令和4年11月
所在地 江戸川区東松本一丁目地内
設置物 雨庭 (2か所)

Point.

- ・ 芝生仕上げとするために芝生用浸透基盤材を使用
- ・ 説明看板を設置し公園利用者に雨庭の概要及び取組を周知
- ・ 近接する小岩第五中学校の生徒が公園の維持管理に参画



- 設置個所 -



- 断面図 -

路床転圧

雨水貯留浸透基盤材敷均し



- 施工過程 -



- 雨庭 1 -

出典：江戸川区提供

事例 3

区部東部

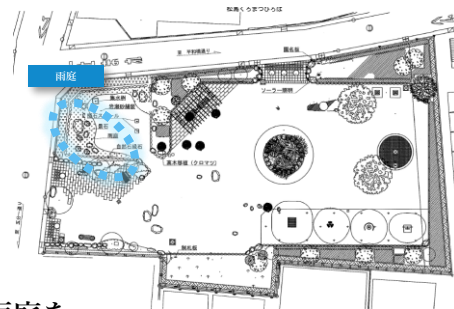
市区施設

松島くろまつ公園

管理者 江戸川区
設置日 令和5年2月
所在地 江戸川区松島三丁目地内
設置物 雨庭

Point.

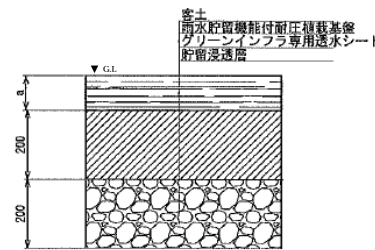
- ・ 憩いの庭の拡張整備に合わせ、雨庭を整備
- ・ 説明看板を設置し公園利用者に雨庭の概要及び取組を周知



- 設置個所 -



- 雨庭 -



- 断面図 -

出典：江戸川区提供

Column 東部交通公園

管理者 江戸川区
設置日 令和5年10月
所在地 江戸川区江戸川二丁目地内

東部交通公園では、「ゼロ・エミッション・パーク」へのリニューアルに合わせ、雨庭を整備



- 雨庭 -

出典：江戸川区提供



6 あまみずグリーンインフラの事例

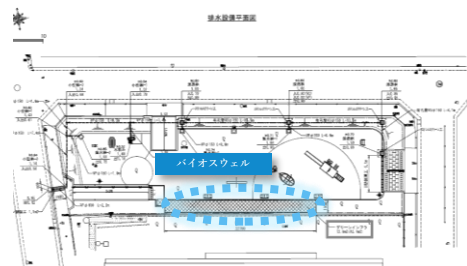
事例 4

区部東部

市区施設

東海公園

管理者 品川区
設置日 令和7年2月
所在地 品川区東品川三丁目地内
設置物 バイオスウェル



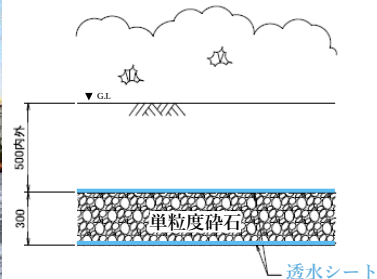
- 設置箇所 -

Point.

- 公園改修に合わせ、新植で緑化する箇所にバイオスウェルを整備
- 目詰まりの防止を狙い、単粒度碎石層を巻き込む透水シートの敷設時、単粒度層に土砂が入らないよう、透水シートの継ぎ目のシートを重ねて施工



- バイオスウェル -



- 断面図 -

出典：品川区提供

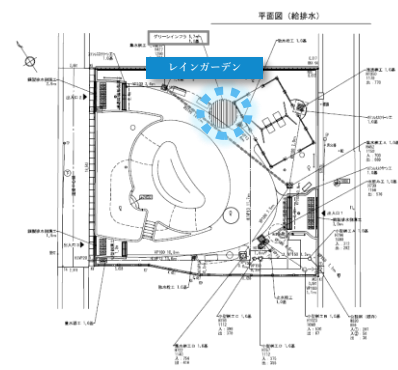
事例 5

区部東部

市区施設

浜川北公園

管理者 品川区
設置日 令和7年2月
所在地 品川区東大井三丁目地内
設置物 レインガーデン



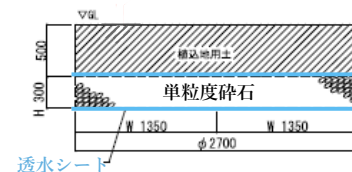
- 設置箇所 -

Point.

- 施工時に設置断面の寸法に合わせて透水シートの幅を設定
- 投入する碎石によりシートが引っ張られるため、シートのラップ幅を多めに確保
- シートのハリが均一になるよう、碎石を3層に分け施工場所全体に広がるようにまき出す工夫



- レインガーデン -



- 断面図 -

出典：品川区提供



6 あまみずグリーンインフラの事例

事例 6

区部西部

都施設

明治公園

管理者 東京都建設局
設置日 令和5年10月
所在地 新宿区霞ヶ丘町五丁目地内
設置物 レインガーデン



- 設置箇所 -

Point.

- 土地の記憶を継承し、渋谷川支流の谷地形を再生
- 新たな谷地形の谷筋に設けたせせらぎは、雨水排水路として機能
- 7,500㎡を超える樹林地「誇りの杜」に降った雨をせせらぎを通して、斜面法尻部に設置した「レインガーデン（雨水浸透緑地帯）」に導水し浸透処理



- レインガーデン -



- 希望の広場 -



- 誇りの杜のせせらぎ -



6 あまみずグリーンインフラの事例

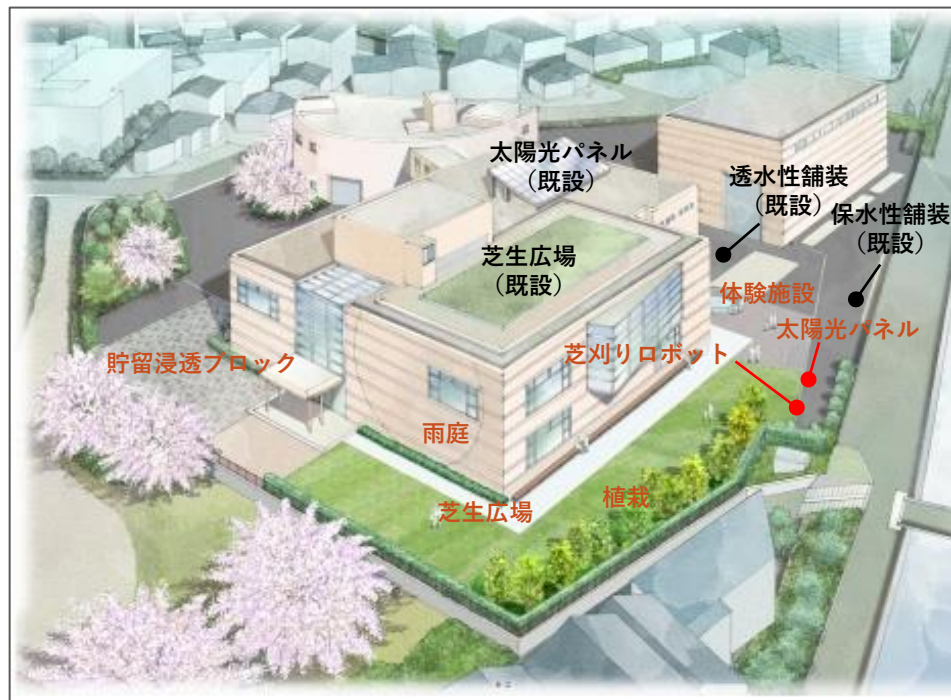
事例 7

区部西部

都施設

善福寺川取水施設

管理者 東京都建設局
設置日 令和7年4月
所在地 杉並区堀ノ内二丁目地内
設置物 レインガーデン
雨水貯留浸透基盤
〔雨水浸透の体験施設、休憩施設等〕



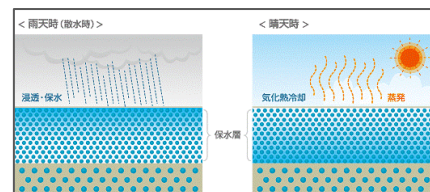
- 整備イメージ -

Point.

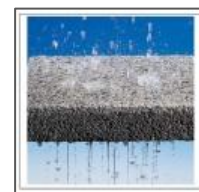
- ・ 貯留浸透ブロックや雨庭を設置し、雨水の流出を抑制
- ・ 雨水浸透の体験施設により、雨水流出抑制に対する都民の意識啓発を促進
- ・ 芝生広場の整備により地域の憩いの場を創出



- 体験施設 -



- 保水性舗装 -



- 透水性舗装 -



- 芝刈りロボット -



- 貯留浸透ブロック -



6 あまみずグリーンインフラの事例

事例 8

区部西部

都施設

高井戸公園

管理者 東京都都市整備局
設置日 令和6年12月（※検証施設）
所在地 杉並区久我山二丁目地内
設置物 レインガーデン（3か所）
バイオスウェル（2か所）



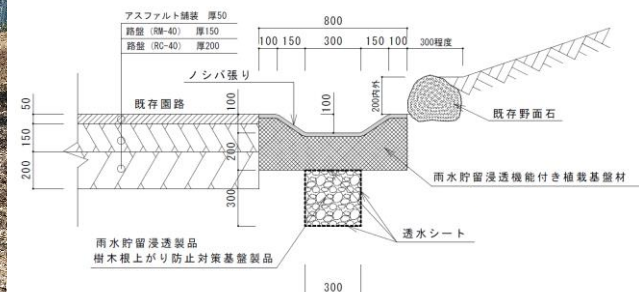
- 設置箇所 -

Point.

- 武蔵野台地の上に位置し、神田川と玉川上水に挟まれた地域で、住民の水環境への関心が高い。
- 植栽の根付きや維持管理に関する情報を集めるため、施設によって材質を変えて整備



- レインガーデン -

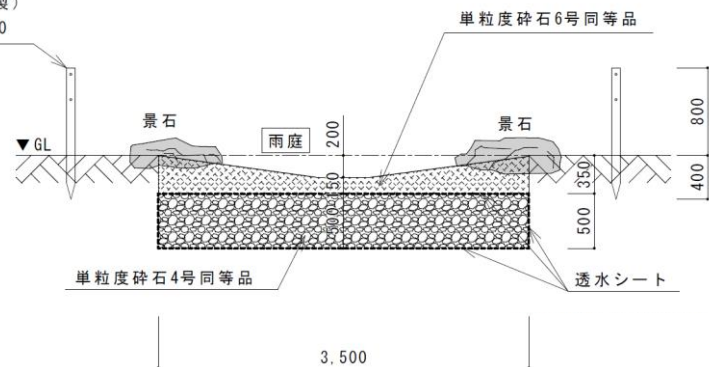


- バイオスウェル -

レインガーデンでは、上層部を植栽用の基盤材にした施設と、碎石にした施設を整備して、違いを観察することとしている。

バイオスウェルでは、表層に芝張りをした区間と、していない区間を設けている。

擬木杭（樹脂製）
φ80×L:1,200



- レインガーデン（断面図） -



6 あまみずグリーンインフラの事例

事例 9

区部西部

市区施設

立教通り

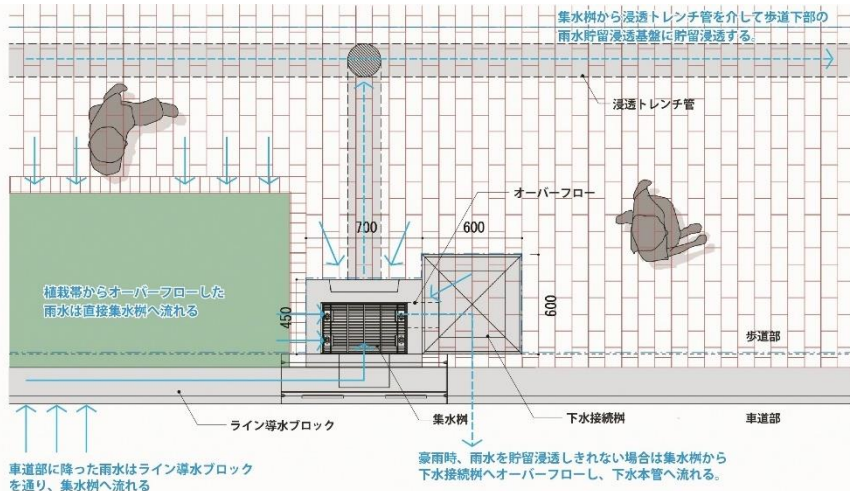
管理者 豊島区
設置日 令和8年11月竣工予定
所在地 豊島区西池袋三丁目地内
設置物 雨水貯留浸透施設

Point.

- 安全性や防災性の改善に向け再整備を進める立教通りにおいて、新たに「環境モデル路線」として位置付け、雨水貯留浸透施設を設置
- 車道に降った雨をライン導水ブロックで集め、集水枳を通して歩道下の雨水貯留浸透基盤材に貯留。貯留した水は保水性舗装から蒸散され、気化熱冷却効果で温度上昇を抑制



- 整備後イメージ -



- グリーンインフラシステム概要図 -

出典：豊島区提供

Column

雨水活用推進イベント 「あまみずフェスティバル」の実施

墨田区では、雨水ネットワークと連携した「第14回雨水ネットワーク全国大会2024 in すみだ」の開催に合わせ、墨田区独自の雨水活用推進イベント「あまみずフェスティバル」を実施しました。

雨について楽しく学べる機会の創出により、これまで意識してこなかった人も対象に、雨水活用に関する意識醸成を行いました。

【開催概要】

- 日時 全国大会：令和6年8月3日(土曜日)及び同月4日(日曜日)
あまみずフェスティバル：令和6年8月1日(木曜日)から同月 4日(日曜日)まで
- 場所 墨田区役所うおい広場及びすみだリバーサイドホール各施設
- 参加 2,210名（全国大会及びあまみずフェスティバル累計）
- 内容
- ・行政、市民団体、事業者、学会等による雨水活用啓発のパネル展示
 - ・区立保育園等との連携による園児作成の雨水に関わる作品展示
 - ・大人から子どもまで楽しめる体験型のイベント
(豪雨体験、学生ボランティアと連携した雨水えんにち など)
 - ・水の日応援大使のポケモン「シャワーズ」派遣
(グリーティング、打ち水の実施 など)



出典：墨田区提供



6 あまみずグリーンインフラの事例

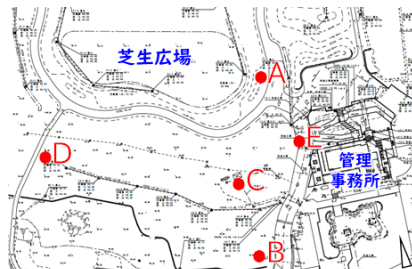
事例10

区部西部

市区施設

柏の宮公園

管理者 杉並区
設置日 令和6年12月
所在地 杉並区浜田山二丁目地内
設置物 レインガーデン (5か所)



- 設置箇所 -

Point.

- 公園内で雨水が浸透しにくく問題視されていた場所への対策をワークショップ『グリーンインフラ杉並区民会議』で検討
- レインガーデンの設置箇所や方向性について区民と話し合い、区民意見やアイデアを反映したレインガーデンと一緒に整備
- 整備箇所ごとの特性を捉え、グリーンインフラ手法を選定



④ 縦穴による浸透

穴を掘った後、しがら（枝を組んだもの）を敷いた箇所

① 土壌改良による浸透

掘った土に腐葉土や土壌改良材を混ぜて埋め戻した箇所

② 碎石による浸透

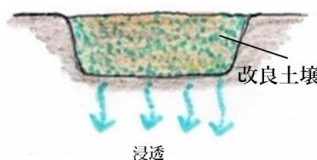
穴を掘った後、碎石を敷いた箇所

- レインガーデン (C地点) -

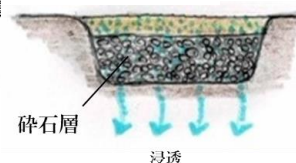
- 各整備箇所の手法 -

グリーンインフラ手法	A.芝生広場脇	B.冒険広場	C.トイレ裏	D.西側園路脇	E.遊具広場入口
①土壌改良による浸透	○	○	○		○
②碎石による浸透			○		
③微地形形成による集水	○				
④縦穴による浸透			○		
⑤穴掘削・碎石による導水		○			
⑥堆積土開削による導水				○	○
⑦窪地貯留				○	○

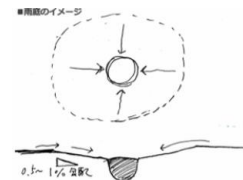
① 土壌改良による浸透



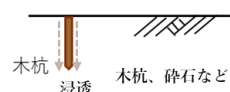
② 碎石による浸透



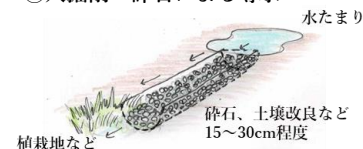
③ 微地形形成による集水



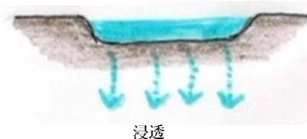
④ 縦穴による浸透



⑤ 穴掘削・碎石による導水



⑦ 窪地貯留



⑥ 堆積土開削による導水



出典：杉並区提供



6 あまみずグリーンインフラの事例

事例11

区部西部

市区施設

弦巻四丁目松の木鈴木市民緑地

管理者 一般財団法人 世田谷トラストまちづくり

設置日 令和6年11月

所在地 世田谷区弦巻四丁目地内

設置物 レインガーデン (2か所)

Point.

- ・「世田谷グリーンインフラ学校※1」の演習フィールドとして、参加者と半日で敷地内に雨庭を2か所整備
- ・コンセプトは、個人宅で市民がホームセンターで購入できる資材で自らDIYでつくれる一坪程度の雨庭
- ・日本庭園風の雰囲気や明るい日陰環境を活かし山野草中心の植栽
- ・宿根草のため、根が張ればローメンテナンスで維持管理可能
- ・緑地保全活動で出た剪定枝を編み込み、雨庭のガーデンエッジへ、また、竹林で間引いた竹をチップ化しマルチング資材へ再利用



- 雨庭※2 -

※1：主催 世田谷区、世田谷トラストまちづくり、※2：雨庭＝レインガーデン

出典：世田谷トラストまちづくり提供

【仕組み】

雨庭① | 倉庫の縦樋から雨水タンクに一時貯留し、オーバーフローした雨水が雨庭に浸透

雨庭② | 樋がない場所のため、雨が直接浸透

【構造や素材】

- ・ 深さ30cm
 - ・ 下層15cm：浸透貯留材(ガラスカレット、碎石、軽石など)
 - ・ 上層15cm：玉砂利による仕上げ
- ※残土は雨庭周辺に盛土し植栽帯とした。

事例12

区部西部

市区施設

世田谷トラストまちづくり ビジターセンター

管理者 一般財団法人 世田谷トラストまちづくり

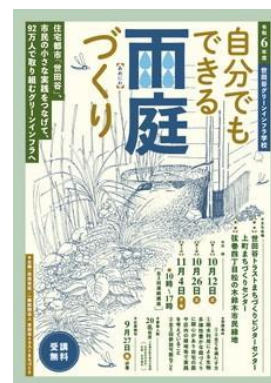
設置日 令和5年11月

所在地 世田谷区成城四丁目地内

設置物 レインガーデン

Point.

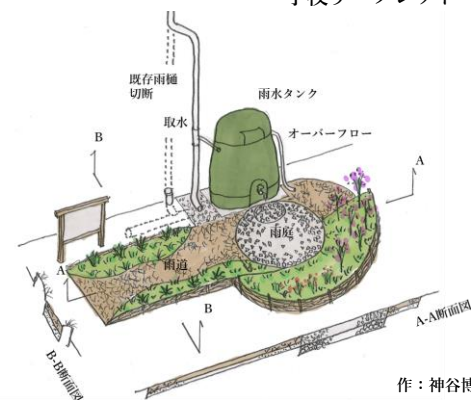
- ・「世田谷グリーンインフラ学校※1」で、講師の指導の下、参加者とともに雨庭を整備
- ・ビジターセンターで、同学校の座学を実施
- ・植栽は、良好な日当たりを活かし、夏の暑さに強く、冬も枯れこんだ姿や種をつけた姿が美しい宿根草を選定
- ・事例11と同様に剪定枝や竹林を再利用



-世田谷グリーンインフラ学校リーフレット-



- 雨庭※2 -



- モデル図 -

作：神谷博

出典：世田谷トラストまちづくり提供



6 あまみずグリーンインフラの事例

事例13

多摩地域

都施設

六仙公園

管理者 東京都建設局
設置日 令和4年11月、令和5年3月
所在地 東久留米市中央町三丁目地内
設置物 レインガーデン（2か所）

Point.

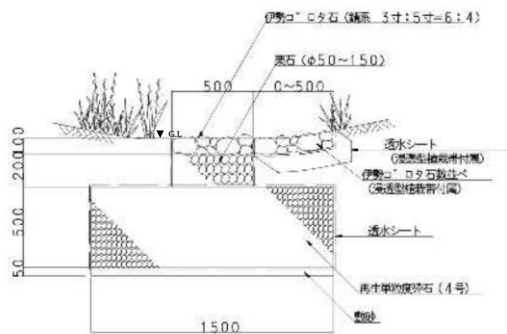
- ・ 災害時等の避難広場として防災機能を備えた公園
- ・ 雨水の地下浸透により、周囲の南沢緑地保全地域や向山緑地公園の湧水涵養に寄与
- ・ 親水空間の広がる落合川及び過去に台風による大きな浸水被害を受けた地域に近く、水環境への住民の関心が高い。



- 設置個所 -



- 遊歩道沿いのレインガーデン -



- 断面図 -



表面流出した水を受け止める溝には、白い礫を充填することで、景観的な変化も創出



丘に降った雨は、路面に流れ出る前にレインガーデンに入り浸透



6 あまみずグリーンインフラの事例

事例14

多摩地域

都施設

武蔵国分寺公園

管理者 東京都都市整備局
設置日 令和7年3月（※検証施設）
所在地 国分寺市泉町二丁目地内
設置物 レインガーデン（5か所）

Point.

- 野川の源流部に近い国分寺崖線上にあり、地下水保全の意識が高い地域
- 機能の確認に向けて、5か所の全てで形状や材質の組合せを変えている。



- 設置箇所 -



- レインガーデン 1 -



- レインガーデン 2 -



- レインガーデン 3 -



- レインガーデン 4 -



- レインガーデン 5 -

遊歩道から水が集まりやすい場所に設置



6 あまみずグリーンインフラの事例

事例17

多摩地域

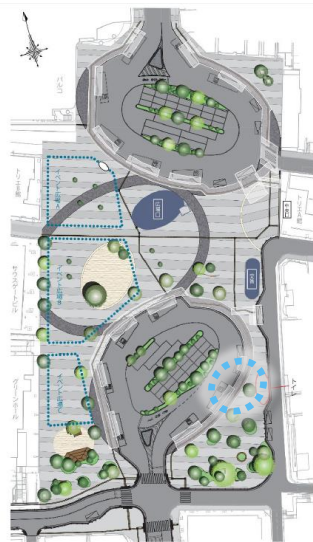
市区施設

調布駅前広場公衆トイレ

管理者 調布市
設置日 令和7年5月
所在地 調布市布田四丁目地内
設置物 雨水貯留浸透施設

Point.

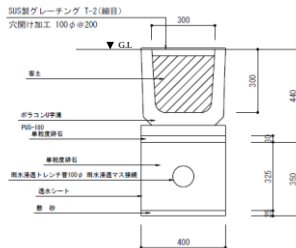
- ・ 調布駅前広場公衆トイレでは、整備方針に「環境にやさしい脱炭素型」を掲げ、雨水の貯留利用等に配慮
- ・ 壁面緑化のみでは大雨時に土が道路上に流れ出るおそれがあったため、雨水浸透も施すことでトイレ利用者に加え、通行人にも配慮
- ・ 併せてグリーンインフラとしての機能も向上



- 配置図 -



- 現地の様子 -



- 雨水浸透設備断面図 -

出典：調布市提供

Column

崖線樹林地等の グリーンインフラ活用に向けた調査

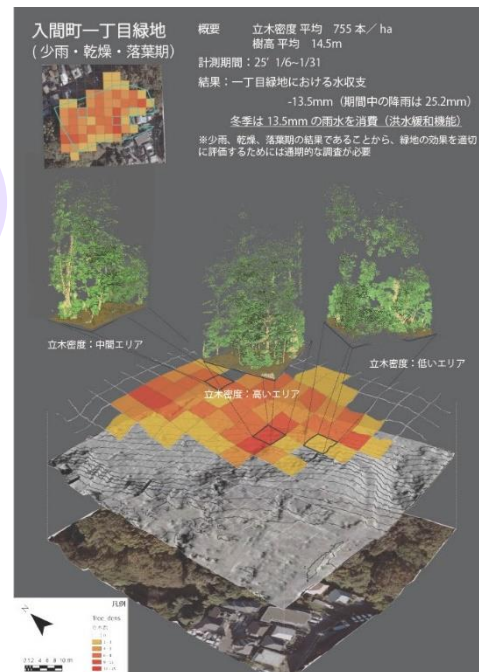
緑が有する機能に着目し、樹林地の持つ雨水の浸透性に着目した雨水流出抑制に資するグリーンインフラの活用可能性について、官民連携によるメカニズム解析の実施

協力民間事業者
先端技術の活用
効果測定・研究
社会実験

調布市
ハイブリットインフラ
による災害対策の試み

崖線樹林地の
自然由来の機能

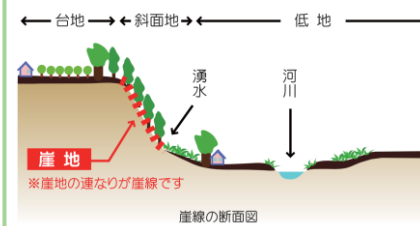
【調査結果の内容】



出典：調布市提供

【崖線とは】

河川が長い間に台地を侵食して形成した崖地の連なり



出典：「崖線の緑を保全するためのガイドライン」
東京都都市整備局



6 あまみずグリーンインフラの事例

事例18

多摩地域

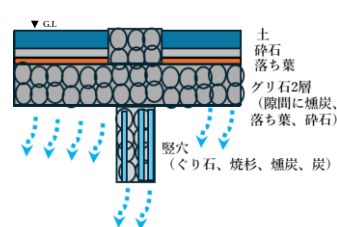
市区施設

富士森公園

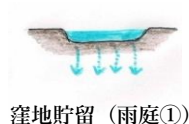
管理者 八王子市
設置日 令和7年3月（雨庭施工日）
所在地 八王子市台町二丁目地内
設置物 レインガーデン（3か所）

Point.

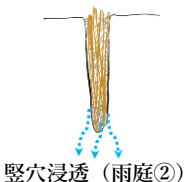
- ・ スポーツ施設を備え、桜や花火大会など多くの人に親しまれる市の代表的な公園である富士森公園に設置し、啓発効果に期待
- ・ 性能を確認するため、使用する材を変えて複数のタイプを用意
- ・ 公園内剪定枝を用いた粗朶柵の設置（雨庭への流水導線部）
- ・ 市民、指定管理者及び市内造園事業者とワークショップにより協働で施工



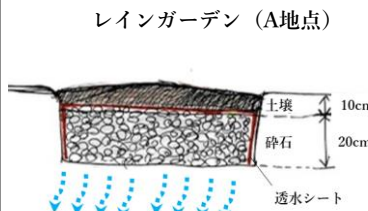
レインガーデン（A地点）



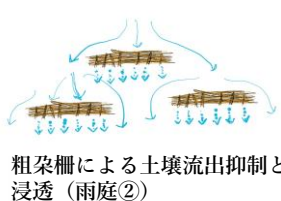
窪地貯留（雨庭①）



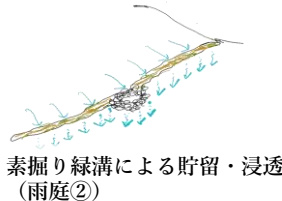
縦穴浸透（雨庭②）



レインガーデン（雨庭③）



粗朶柵による土壌流出抑制と浸透（雨庭②）



素掘り緑溝による貯留・浸透（雨庭②）

- 断面図及び貯留・浸透イメージ -



- ワークショップの様子 -

- 設置個所 -

園路から表流水を導いて
しみこませる植栽した雨庭（①）

一園路や広場法面からの雨水を導水し
貯留・浸透



施工過程

竣工



雨水による斜面の土壌と
水の流出を抑える雨庭（②）

一粗朶柵による土壌流出抑制と、法面から
素掘り緑溝へ雨水を導水し貯留・浸透



施工過程



竣工

法面からの表流水を導いて
しみこませる雨庭（③）

一法面からの雨水を貯留し浸透



施工過程

竣工

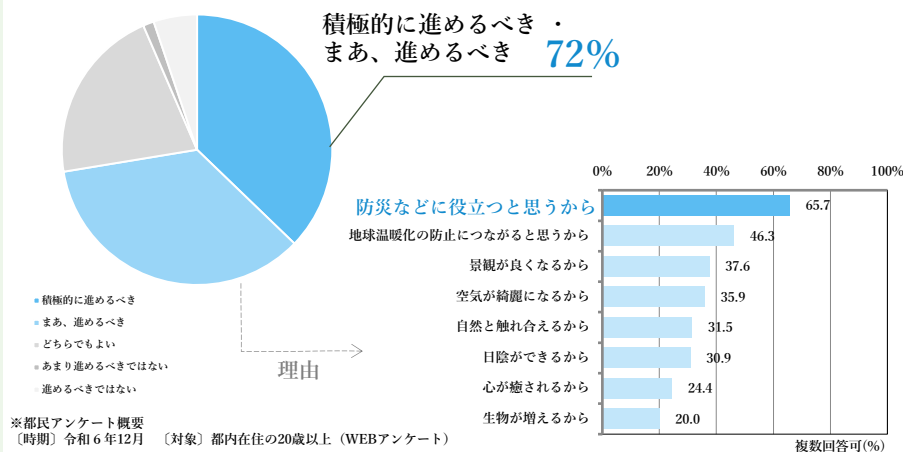
出典：八王子市提供資料



7 あまみずグリーンインフラへの期待

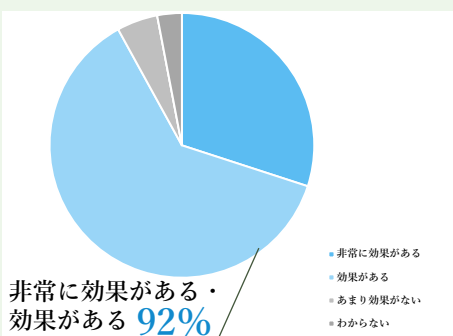
都民1000人及び事業者100社の声

都内在住の20歳以上の方1000名に市街地におけるグリーンインフラ整備についてお聞きした結果、「積極的に進めるべき」及び「まあ、進めるべき」とした方が7割以上で、一番の理由は「防災などに役立つと思うから」でした。



グリーンインフラの活動を推進している都内事業者100社にグリーンインフラの効果についてお聞きした結果、9割以上の事業者が「非常に効果がある」及び「効果がある」と評価していることが分かりました。

※事業者アンケート概要
〔時期〕令和6年12月〔対象〕グリーンインフラを推進している事業者



あまみずグリーンインフラ検討委員会委員*から

（五十音順）



朝日ちさと 東京都立大学都市環境学部 教授

気候変動時代の都市では、環境と経済がより手をつなぎ、防災や健康、well-beingを実現することが大切です。グリーンインフラによって、水循環や生物多様性など都市では見えにくい自然の価値が、日々の経済・社会活動に生かされることを願っています。



屋井裕幸 公益社団法人雨水貯留浸透技術協会 常務理事

あまみずの貯留・浸透の見える化、自分事化を目指す「あまみずグリーンインフラ」は、持続可能でリジェネラティブな街づくりに大いに役立つでしょう。都市の防災と健全な水循環系再生のため、共に普及させましょう。



笹川みちる 特定非営利活動法人雨水市民の会 理事

雨を邪魔者にせず、まちづくりに取り込むのが「あまみずグリーンインフラ」です。その手法には、私たち一人ひとりが楽しみながら参加できるものがたくさんあります。これからのまちの雨のゆくえを一緒にデザインしましょう。



二瓶泰雄 東京理科大学 創域理工学部 教授

全国各地で大雨や酷暑などの異常気象が日常となる現代では、「あまみずグリーンインフラ」はとても必要な技術と対策です。企業や市民の皆さんが活用したくなる技術となるよう、都の取り組みに期待しています。



福岡孝則 東京農業大学地域環境科学部 教授

「自然と共生する社会づくり」のために、グリーンインフラを活かしたまちづくりという視座が重要になります。庭や公園など身の回りの小さな自然から、地域の水やみどりなどの再生成をつうじて、共に未来のまちづくりに取り組んでまいりましょう。

*あまみずグリーンインフラの効果や実装に向けた進め方等の検討を行うことを目的に、東京都が令和6年8月に設置した検討委員会